

KASUMIGAURA LIVING GATE

古民家からはじまる、かすみがうらの風土を体験するサイクルツーリズムの提案

筑波大学大学院 吉田実紀

BACKGROUND

農村部における地域コミュニティの衰退



茨城県かすみがうら市は豊かな自然や食資源、歴史的な古民家が残る一方で、少子高齢化と過疎化が進んでいる。この地域の活性化を目指し、3年間にわたり古民家改修に携わる中で、地域資源を活かした新たな交流の場の必要性を強く実感した。

CONCEPT

古民家改修拠点が、地域をつなぐサイクリングハブとなる



各拠点はかすみがうら市の地形や風土を体験できる宿泊施設として実際に活用される。ナショナルサイクルルートが通る水辺から、川沿いの農道を利用して内陸の拠点到人を引きこみ、自分の家のように地域を巡って楽しめる拠点をつくる。

2 大和田の古民家

1 中台の古民家

4 川沿いの農道サイクリングロードの整備

田園風景

田んぼの
良い景色～

4 体験できる観光農園

今日は何が
採れたかな

ぐるぐる
登りきた〜!

霞ヶ浦大橋

3 農業環境改善センター

貝殻の見える地層

収穫したれんこん
自転車で
宿まで持ってくね〜

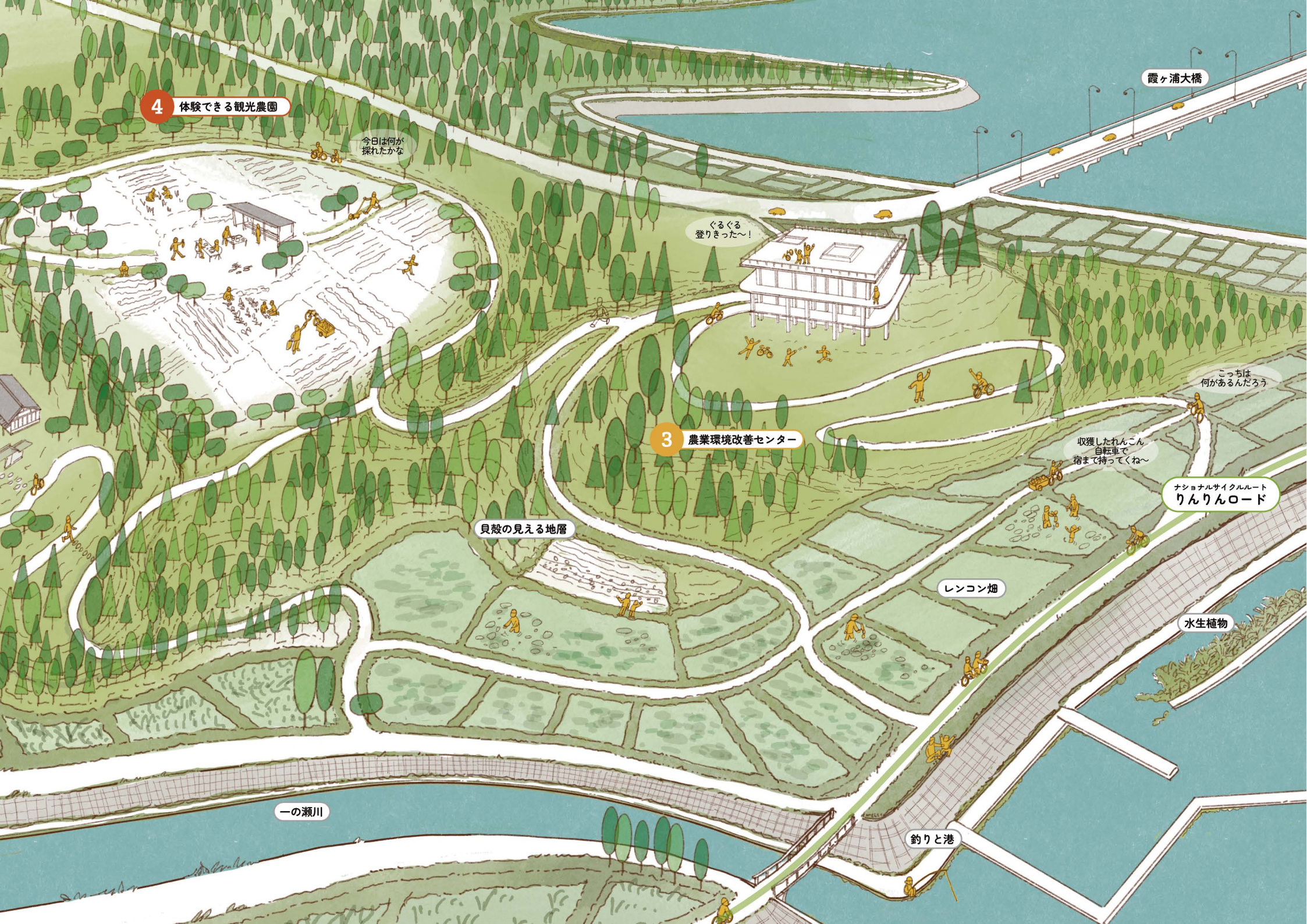
ナショナルサイクルルート
りんりんロード

レンコン畑

水生植物

釣りと港

一の瀬川



1



中台の古民家

おこる

DONE 2022/02-2024/08 ▶▶▶▶

中台の古民家プロジェクト

築100年を超える茅葺きの古民家を自分たちで改修する、
全6回のリノベスクール

「中台の古民家プロジェクト」は、2022年3月からの第1期：企画、2023年7月からの第11期：設計、2024年12月からの第13期：施工の全3期にわたって行われた、古民家改修プロジェクトである。古民家を教材として、さまざまな学生やアーティストが本物件の提案や施工に関わり、地域に資する拠点を作り上げた。

2



大和田の古民家

つながる

ON GOING 2024/02- ▶▶▶▶▶▶

大和田の古民家プロジェクト

長屋門と二階建ての母屋に囲まれた敷地を
体験型ホテルへと活用するプロジェクト

「大和田の古民家プロジェクト」は、2024年3月からスタートし、2024年10月に離れのゲストハウスへの改修とプレオープン、2025年中に敷地全体の体験型ホテルへの活用を目指す古民家改修プロジェクトである。

森の中で、ゆったりとした時間を味わう
古民家ワークショップ施設

理恵庵

板の間の和紙アートが夜を照らす



リノベスクールに関わった人たち



リノベスクールの様子

川沿いの田んぼの景色を望む、古民家ゲストハウス

仁左エ門

ダイニングキッチンのあるゲストハウスへと改修された離れ



改修に関わった人たち

全体の活用提案

CONCEPT

田んぼから裏山へと居場所が続き、自然とくらしをひとつながりに感じる宿

DIAGRAM

1 田んぼから裏山へ緑を引き込む庭 2 地域に開くにぎやかな場所をつくる 3 各棟のスキマに自然と生きる場所をつくる



平面配置図

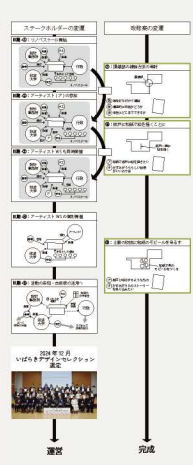


リノベスクールの実施

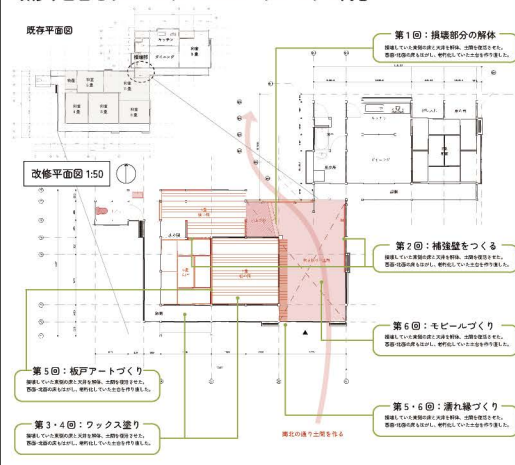
2023.12-2024.08 WORKSHOP



全3回にわたって行われたリノベスクールでは、大工さん・建築職人さん・建築士・大工職人・アーティストなど多様なメンバーが参加し、生徒である学生とともに改修活動を行った。古民家を教材として、さまざまな学生やアーティストが本物件の提案や施工に関わり、地域に資する拠点を作り上げた。予定は全3回だったが、好評のため、追加で4回（回）を、さらにアーティストによるワークショップが追加された。2024年8月に完成した。オーナーを含め、計40人が参加した。現在はオーナーが古民家の運営に向けて準備を進めているところだ。



改修平面図とリノベスクールのワークショップ内容



大和田の古民家 離れ 改修平面図

